

SUSD コースのご紹介

—ITC 協会認定番号:ITCC-CP020009—
(SUSD メソッド研修)

1. コース概要

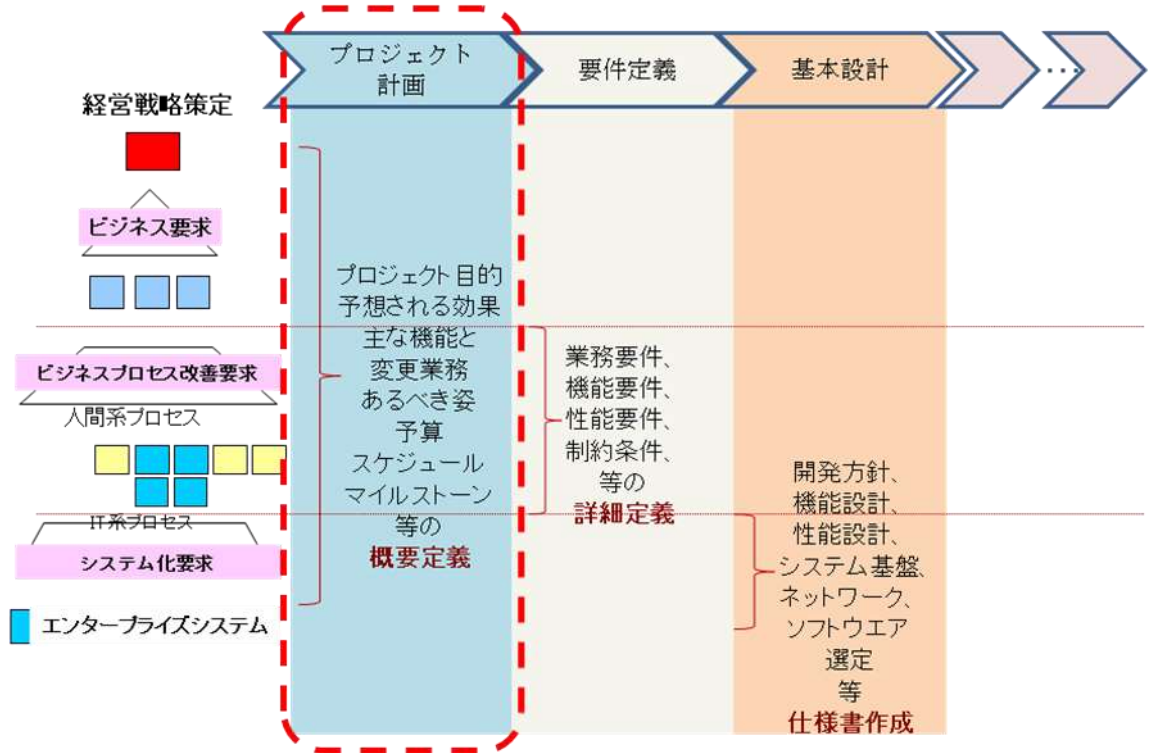
情報システムは、経営に大きく貢献できます。しかし、情報システムの構築プロジェクトの成功は、3割以下という報告が経産省や日経各誌から発表されています。この問題はプロジェクト計画策定時のユーザ要求が明確になっていないことに起因していると分析されています。

基幹システムの構築には、数多くの利害関係者が存在します。広義のユーザであるその利害関係者全員が納得したうえで経営に貢献するシステム構築計画を策定する必要があります。しかし、これまでは、その様な手法がどこからも公開されていませんでした。

そこで、このコースでは、利害関係者全員の調整を含め、ユーザ要求が正確に反映された成功するプロジェクト計画の策定を可能にする画期的方法論(革新的手順、テンプレート、ツール)を修得します。

この計画策定手順では、経営戦略に合わせ込んで、現場の声を分析し、理想的な業務を設計していくことが簡単にできるようになっています。それを可能にしているのが、弊社の提供するテンプレートと計画策定ツール群になります。

SUSD の位置付けを以下の図で示します。SUSD は、利害関係者の英知を集約させて、ビジネス要求、ビジネスプロセス改善要求、システム化要求を数値化させる革新的手法を利用することにより的確なプロジェクト計画書を策定します。



2. コースの目標

全社の業務改革を豊富な課題テンプレートと業務課題の重要度を数値化するSUSD*パッケージツールを活用し、現場の力を最大限に高める改革目標を自動生成する手順を実行できるようになります。

そのことで、コース修得後には、成功するプロジェクト計画をたった2週間という短期間で策定できるようになります。

(注)SUSDとはドリームIT研究所で開発した現場指向の全社業務改革手法です。

3. 受講対象者

- ◆ 基幹システム刷新の提案や構築に係るコンサルタント、プロジェクトマネージャー、営業の方
- ◆ 基幹システム刷新の構築に係るシステム企画員、中堅社員、プロジェクトリーダーの方
- ◆ 全社最適システムアプローチによる情報システム設計を必要とされる方

特記：ITコーディネータの方は知識ポイント16時間分（8ポイント）を取得できます。

4. 内容構成

◆ 第1章 全体最適化プロジェクト計画(IT戦略)策定概要

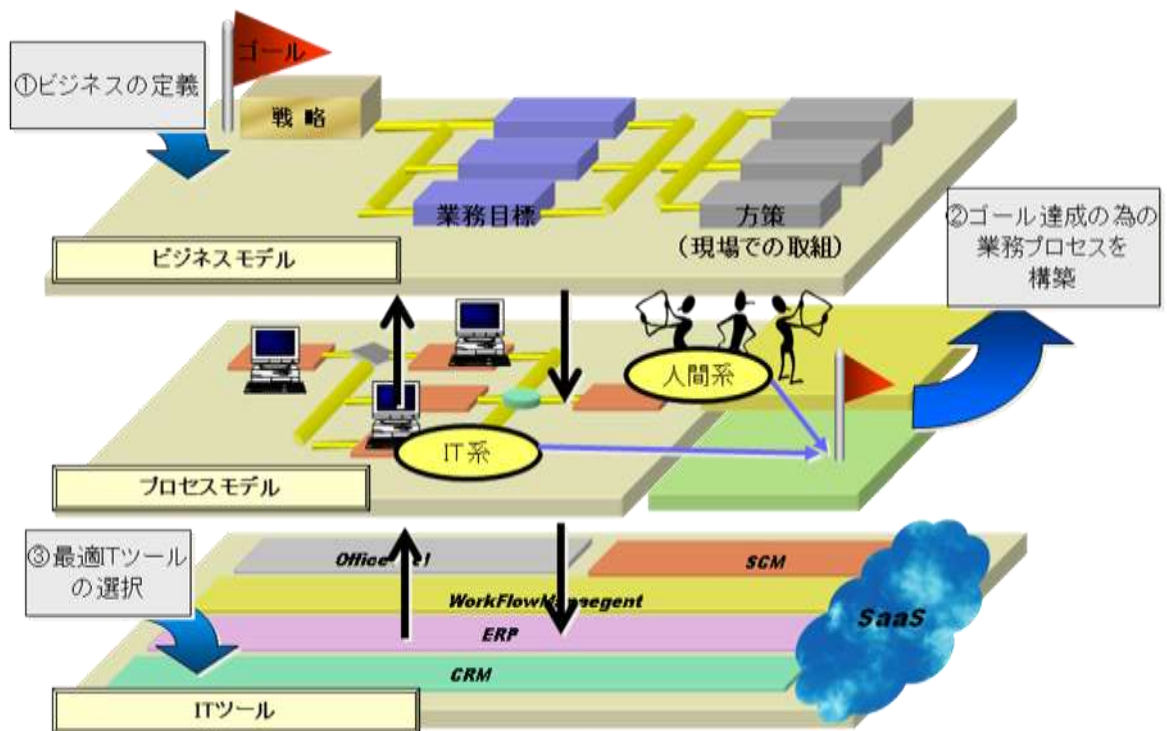
目標：基幹システム計画策定のための基礎知識を修得します。

プロジェクト計画には、①経営的な目的、(ビジネスの定義)、②あるべき業務の姿、(ゴール達成のための業務プロセス)、③あるべき業務の姿を達成するためのソリューション、(最適ITツール)、④求められる効果の数値化、が必要です。

それらの情報を利害関係者から効率的に(1)収集し、(2)分析し、(3)まとめていくための方法論の概要を学びます。

本章の図解は以下をご参照下さい。

企業のゴール達成のためのあるべき姿をどのように定義していくかの概要。



ビジネスの概要を決めるものがビジネス戦略(①ビジネス定義)となります。これを明確にすることにより、ゴールが明確になり、プロジェクトの方向性をプロジェクト参加者全員で共有できるようになります。

明確に示されたゴールを達成するための業務プロセスがビジネスの詳細を表します。(②の部分です。)本方法論では、問題点のある業務プロセスを適確に洗い出します。

業務プロセスを最適化するために必要なITソリューションを選択し、その効果を数値化します。

◆第Ⅱ章 利害関係者間の調整及び英知の結集のためのワークショップ

(「ビジネス戦略定義」の知識とメソドロジー)

目標: 事業のビジネス戦略に沿って、現場でとるべき方策を半自動で決定する方法論を修得する。

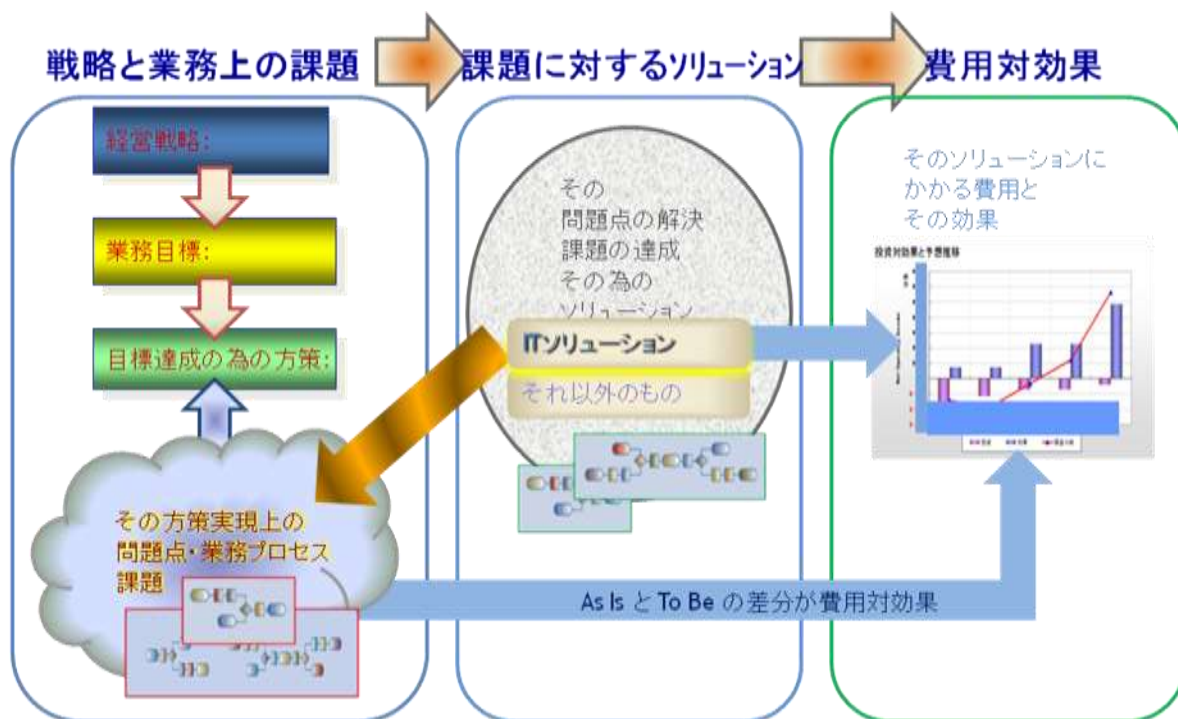
現場の要求に関わる情報をテンプレートとツールを使用して、5日間で利害関係者全員から抽出する方法論の学習。実習を含んだ方法論の具体的な実行能力を養成します。

- ① テンプレートとツールを利用して、利害関係者の英知を半自動で収集・集約して、経営戦略、業務上達成すべき目標、現場でとるべき方策を自動的に纏め上げる方法論を学習。
- ② 現状の業務プロセスと問題点の抽出→問題解決のための課題とあるべき業務プロセスの導出方法論の学習。

③ 予想費用の数值化の方法論の学習。

本章の図解は以下をご参照下さい。

現場で実行するワークショップの流れを示します。



1. 現場の経営側利害関係者の方々から戦略に関わる情報を数時間で抽出し、纏め上げます。
2. その戦略に基づき、重要な業務目標の設定を現場の管理者の方々から数時間で引き出し、纏め上げます。
3. 設定された業務目標に基づき、現場の英知を結集し、とるべき方策を策定します。
4. とるべき方策を実施するために最適なあるべき姿(業務プロセスとITソリューション)を現場からの声を元にモデル化します。
5. あるべき姿を実現した際の効果を数值化し、マイルストーンごとの KPI を設定します。

◆第三章 プロジェクト計画の表記方法

目標: 利害関係者の全員が簡単に理解できる内容でプロジェクト計画具現化する方法論を修得する。以下にその方法論習得のためのフレームワークの学習と具体的な記述方法テーマを示します。

(1) プロジェクトの全体像

- ープロジェクトスコープ(業務範囲、対象組織、対象業務機能)
- ープロジェクト背景と今後の方向性

(2) ビジネス要求事項

- ービジネス的目的の整理、重要度、優先度の数値化
- ーチャートへの落とし方

(3) 現状の業務とあるべき姿

- ー現状の業務とシステムその問題点及びあるべき姿
- ー効果概要

(4) グランドデザイン

- ー要求される機能とその重要度
- ーソリューション概要とその効果

(5) 概要スケジュールとマイルストーン

5. コース運営形態

- ◆講義形態： 集合研修、講義及び演習課題の構成
- ◆コース時間： 2日、 1日目 10:00-17:00(昼食1時間を含みます)
2日目 10:00-17:00(昼食1時間を含みます)

6. 受講料

- ◆基本料金:1名様当り 150,000円(税抜き):5名以上で開催
- ◆特典:10人グループ以上での申し込みは20%引きとなります。

7. お客様内での研修の場合のお客様準備依頼事項

- ◆プロジェクター、白板、お客様用 PC1台以上

8. お支払い方法

- ◆受講前の払い込みとなります。
お申込みの際に、お見積書を差し上げますので7営業日前までにお支払いください。

株式会社ドリーム IT 研究所

<http://dreaminstitution.com/SUSD.html>

お問合せ先:Sales@dream-biz.jp